

あなたにもできる! 暮らしの快適を守る方法 教えちゃいます!

その1 アレルギーの原因 カビ対策



アレルギーの原因、カビ... また、カビはダニの餌にもなります。そのままにしておくとダニの発生も誘発してしまいます。ひどい場合は家の土台や床を腐らせる原因にも。しっかり対策して、健康と住まいを守りましょう。

カビが発生する条件とは?

温度5~45°Cの間で繁殖しますが、20°C以上、特に28°C前後がいちばん盛んに繁殖します。湿度は60%以上、80%を超えると一気に増大! それにホコリや汚れなどのカビの栄養源があるとあっという間に繁殖していきます。

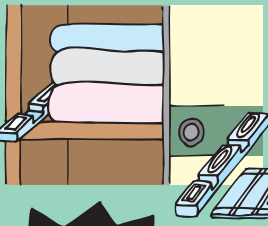


カビは、こうして予防しよう!

湿度を上げない工夫を

室内

換気をよくするため、窓をできるだけ開けて、換気扇があれば回して空気をよどませないようにしましょう。エアコンや除湿器を使って除湿をすることも効果的です。押入れやクローゼットには、除湿剤を使うとよいでしょう。



浴室

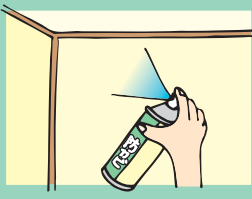
水分をできるだけ残さないのがポイント。浴槽に残ったお湯は流してしまおうか、きちんとフタをさるるようにしましょう。そのうえで、窓を開ける、換気扇を回すなどして、できるだけ早く湯気を逃がすようにしてください。こまめな水拭きや入浴後、タオルなどで水分を拭き取る習慣をつけることはいへん効果があります。



汚れを残さない

高温多湿でカビが発生しやすい浴室も、きちんと掃除しておくことでカビは生えませんが、カビの栄養素となる石けんカスやアカを残さないように毎日壁から天井まできれいに洗い流すようにしましょう。

定期的な防カビスプレーをカビが生えやすい場所には2~3か月ごとに防カビスプレーをかけるとう�효的です。



カビ取り剤の種類

塩素系カビ取り剤

カビの胞子を殺菌、さらに漂白してカビを取ります。また、塩素漂白剤を水で3~5倍に薄めたものも、ほとんど同じ効果があります。塗ってしばらくそのまましておくのがポイント。こするとかえって落ちにくくなります。ニオイやアルカリ性が強いので、換気を良くしてゴム手袋を着用するなど注意してください。使用後は必ず水洗いか水拭きしてください。塩素系カビ取り剤は布壁紙や京紙、絨織壁には使えないので注意!

アルコール

アルコールもカビを殺菌しますが漂白効果はないので消臭ことはできません。発生防止としてスプレーするなどして使用しましょう!

弱酸性系カビ取り剤

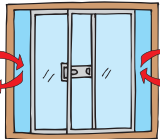
除菌・殺菌効果があり、ニオイがなく、弱酸性で手にもやさしいカビ取り剤。塗ってしばらくおいてから、こってカビを取りましょう!

ちょっとアドバイス!

- ① 窓を開けたままカギ?
- ② 押入れにのこ?

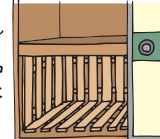
① 窓を開けたままロックできるカギ

サッシのカギに取り付けると約5~7cm開けたままロックできるカギがあります。浴室や部屋の換気にとっても便利!



② 押入れにのこを敷いて風通し対策

押入れの床や壁にのこを敷くと風通しがよくなり、温度・湿度を下げ、カビやダニの防止に役立ちます!



もっと詳しく大切な家のこと、お話ししたいひも。どうぞお気軽に是非お電話ください!



駐車場完備



イレブンエステート 株式会社

〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目5番6号
TEL 0120-68-1171 FAX 06-6324-1195 定休日水曜日



住宅性能保証機構登録店 (財)住宅性能保証機構より保証書が発行されます

(社)大阪府宅地建物取引業協会正会員 (財)住宅性能保証制度登録店 第21001461号 ホームページもご覧ください。 URL <http://www.11estate.co.jp> 宅建免許/大阪府知事(2)第46204号 建設業/大阪府知事許可(般-15)第109245号 E-mail info@11estate.co.jp